

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2039年6月24日まで（2021年4月6日設定）	
運用方針	外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。外国投資法人の投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベイリー・ギフォード・インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーションおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーション	日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、予想提示された金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、予想提示された分配金額が分配対象額を超える場合等には、当該分配金額としないことや分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

ベイリー・ギフォード
インパクト投資ファンド
（予想分配金提示型）

愛称：ポジティブ・チェンジ



- 第58期（決算日：2026年1月26日）
- 第59期（決算日：2026年2月25日）
- 第60期（決算日：2026年3月25日）
- 第61期（決算日：2026年4月27日）
- 第62期（決算日：2026年5月25日）
- 第63期（決算日：2026年6月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

※当ファンドは「サステナブル・ファンド」です。

サステナブル・ファンドとは、ファンドの投資判断プロセスにおいてE S G要素を主要とし、環境や社会の課題解決・改善に寄与する企業等への投資を行い、お客さまの資産形成および持続可能な社会の実現に貢献するファンドとして、三菱UFJアセットマネジメントが定めたファンドをいいます。サステナブル・ファンドへの認定および除外は今後見直す場合があります。

詳細については、委託会社のホームページ（<https://www.am.mufg.jp/corp/sustainability/sustainability.html>）をご覧ください。

E S Gとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取ったものです。

ファンドマネージャーのコメント

■運用のポイント

ベイリー・ギフォードでは1世紀以上にわたって長期的視点での投資を行っており、その中で何度も世界的な危機局面を経験しています。この中で、危機時においても長期的視点を持ち、反射的な投資行動は避けるべきであるということを学んでおり、これは当ファンドにおいても生かされています。

当ファンドでは長期的には株価はファンダメンタルズに従うと考えており、長期的な業績拡大が期待でき、社会に好ましいインパクトをもたらすことが期待できる銘柄については保有を継続しています。

また、インパクト分析の強化や継続的な投資先企業との対話を通じて、持続可能な社会の実現に向けたポジティブな影響を与えることを引き続き目指しています。

■ポートフォリオ概況

主な新規組入銘柄

「INTUIT INC」は税務・会計等サービスを提供するソフトウェア会社です。税務・会計ソフト分野で高い市場シェアを持ち、AI活用による業務効率化を通じて持続的な成長が期待されていることなどから新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

「BANK RAKYAT INDONESIA PERSER」はインドネシアの零細・中小企業及びマイクロファイナンスに重点を置く銀行です。融資管理の失敗による貸倒損失の拡大や、デジタル系フィンテック企業との競争激化によって競争優位性への確信が低下したことなどから、全売却しました。

■ポジティブ・チェンジ戦略が創出したインパクト（2024年12月末時点）

◎ECOLAB INC（環境・資源の保護）

同社は、洗浄製品、水処理ソリューション、デジタルサービスの開発、製造、販売を手がけています。また、製品に関するトレーニングとコンサルティングサービスを170か国以上の顧客に提供しています。また、40以上の業界で顧客を支援し、世界中の何百万もの顧客拠点で清掃、衛生、食品安全、水管理、エネルギー管理のニーズに対応しています。同社のソリューションは、顧客が事業効率を最適化し、サステナビリティを高めることに役立っています。2024年、顧客による2,260億ガロンの水資源節約や、460万トンの排出量（二酸化炭素換算、CO2e）削減に貢献しました。

◎TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING（平等な社会・教育の実現）

同社は、通信からヘルスケアまで、様々な業界向けに半導体を製造しており、その規模とイノベーションは半導体のコスト削減に貢献します。2024年には、12インチ換算で1,290万枚のウェハを出荷し、世界の外部委託半導体の半数以上を生産しました。また、エネルギー節約に役立つパワーマネジメントICを供給しました。2024年、同社は522社の顧客のために、288の別個の技術を利用し、1万1,878の異なる製品を製造しました。同社は、より少ない電力で、より大きなコンピューティングパワーを実現しており、エネルギー効率の向上とコスト削減に貢献しています。さらに、AI、ライフサイエンス、通信、エネルギー転換におけるイノベーションを支え、世界の社会及び環境面の課題を解決する技術の開発を支援しています。

■エンゲージメント（2025年12月末時点）

◎MERCADOLIBRE INC（平等な社会・教育の実現）

同社と2回の会合を実施し、排出量フットプリントに対処するための取り組みについて議論しました。前最高財務責任者（CFO）の退任を受け、新たなサステナビリティ責任者との対話を通じて、既存戦略の継続に加えて、新たな施策についても確認しています。また、2035年までに物流センターの再生可能エネルギー100%化および配送のEV化を進める方針に加え、物流分野における低炭素イノベーションの推進やサプライチェーン全体での排出削減に向けた取り組みが示されました。当戦略はこれらの方向性を評価し、同社の取り組みを支持しています。

◎RIVIAN AUTOMOTIVE INC-A（環境・資源の保護）

同社のサステナビリティ担当チームと会合を実施し、米中の関税や責任ある調達の見点からサプライチェーンについて議論しました。現地化とサステナビリティを重視した次世代自動車のための調達プログラムに取り組んでおり、サステナブルな製品を通じて顧客の品質意識向上にも寄与している点が確認されました。また、責任ある鉱業認証イニシアチブ（IRMA）への加盟について評価するとともに、同基準のさらなる普及と調達への反映が今後の課題であることを確認しました。



ベイリー・ギフォード&カンパニー
パートナー（共同経営者）インベストメントマネージャー
ケイト・フォックス

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		債券 組入比率	債券 先物比率	投資信託 証券組入比率	純資産額
	(分配率)	税込 分配金	期中 騰落率	MSCI オールカントリー・ワールドインデックス (配当込み、 円ベース)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
34期(2024年1月25日)	9,997	0	3.2	21,793	4.7	—	—	96.9	27,591
35期(2024年2月26日)	10,215	100	3.2	23,266	6.8	—	—	98.5	28,280
36期(2024年3月25日)	10,493	100	3.7	24,051	3.4	—	—	98.6	27,698
37期(2024年4月25日)	10,054	0	△ 4.2	23,985	△0.3	—	—	97.6	25,638
38期(2024年5月27日)	10,245	100	2.9	25,376	5.8	—	—	98.3	25,131
39期(2024年6月25日)	10,329	100	1.8	26,171	3.1	—	—	97.7	24,266
40期(2024年7月25日)	10,113	100	△ 1.1	25,181	△3.8	—	—	97.6	22,554
41期(2024年8月26日)	9,621	0	△ 4.9	24,737	△1.8	—	—	98.5	20,968
42期(2024年9月25日)	9,840	0	2.3	24,901	0.7	—	—	98.8	21,072
43期(2024年10月25日)	10,198	100	4.7	26,393	6.0	—	—	98.6	21,426
44期(2024年11月25日)	10,428	100	3.2	27,205	3.1	—	—	97.6	21,131
45期(2024年12月25日)	10,456	100	1.2	27,728	1.9	—	—	97.6	20,561
46期(2025年1月27日)	10,606	100	2.4	27,993	1.0	—	—	97.6	20,533
47期(2025年2月25日)	10,049	100	△ 4.3	26,792	△4.3	—	—	97.3	19,020
48期(2025年3月25日)	9,509	0	△ 5.4	26,502	△1.1	—	—	98.7	17,699
49期(2025年4月25日)	8,799	0	△ 7.5	24,164	△8.8	—	—	99.0	16,238
50期(2025年5月26日)	10,069	100	15.6	25,674	6.2	—	—	97.8	18,012
51期(2025年6月25日)	10,112	100	1.4	27,126	5.7	—	—	97.6	17,804
52期(2025年7月25日)	10,435	100	4.2	28,711	5.8	—	—	97.6	17,377
53期(2025年8月25日)	10,615	100	2.7	29,180	1.6	—	—	97.5	16,711
54期(2025年9月25日)	10,818	200	3.8	30,317	3.9	—	—	98.6	16,794
55期(2025年10月27日)	11,049	200	4.0	31,877	5.1	—	—	97.9	16,632
56期(2025年11月25日)	10,255	100	△ 6.3	32,125	0.8	—	—	97.6	15,293
57期(2025年12月25日)	10,489	100	3.3	33,260	3.5	—	—	97.6	15,494
58期(2026年1月26日)	10,758	100	3.5	34,267	3.0	—	—	97.6	15,678
59期(2026年2月25日)	10,364	100	△ 2.7	34,289	0.1	—	—	97.6	14,896
60期(2026年3月25日)	9,853	0	△ 4.9	32,790	△4.4	—	—	84.6	14,066
61期(2026年4月27日)	10,520	100	7.8	35,867	9.4	—	—	97.6	13,106
62期(2026年5月25日)	10,548	100	1.2	37,187	3.7	—	—	97.9	12,975
63期(2026年6月25日)	10,883	100	4.1	37,580	1.1	—	—	96.7	13,146

- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
- (注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCI オールカンントリー・ワールドインデックス (配当込み、円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率			
第58期	(期 首) 2025年12月25日	円 10,489	% —	33,260	% —	% —	% —	% 97.6
	12月末	10,487	△0.0	33,234	△0.1	—	—	97.5
	(期 末) 2026年 1 月26日	10,858	3.5	34,267	3.0	—	—	97.6
第59期	(期 首) 2026年 1 月26日	10,758	—	34,267	—	—	—	97.6
	1 月末	10,595	△1.5	33,527	△2.2	—	—	98.5
	(期 末) 2026年 2 月25日	10,464	△2.7	34,289	0.1	—	—	97.6
第60期	(期 首) 2026年 2 月25日	10,364	—	34,289	—	—	—	97.6
	2 月末	10,500	1.3	34,556	0.8	—	—	97.6
	(期 末) 2026年 3 月25日	9,853	△4.9	32,790	△4.4	—	—	84.6
第61期	(期 首) 2026年 3 月25日	9,853	—	32,790	—	—	—	84.6
	3 月末	9,599	△2.6	32,110	△2.1	—	—	98.5
	(期 末) 2026年 4 月27日	10,620	7.8	35,867	9.4	—	—	97.6
第62期	(期 首) 2026年 4 月27日	10,520	—	35,867	—	—	—	97.6
	4 月末	10,464	△0.5	35,852	△0.0	—	—	97.5
	(期 末) 2026年 5 月25日	10,648	1.2	37,187	3.7	—	—	97.9
第63期	(期 首) 2026年 5 月25日	10,548	—	37,187	—	—	—	97.9
	5 月末	10,645	0.9	37,627	1.2	—	—	98.5
	(期 末) 2026年 6 月25日	10,983	4.1	37,580	1.1	—	—	96.7

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

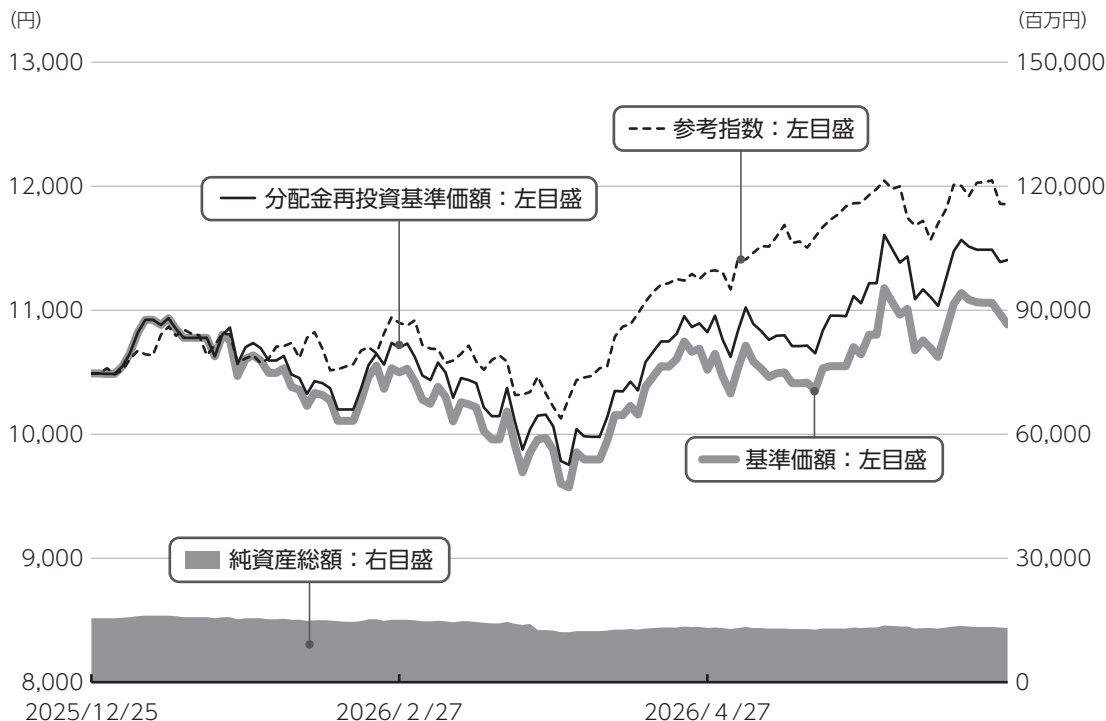
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第58期～第63期：2025年12月26日～2026年6月25日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第58期首	10,489円
第63期末	10,883円
既払分配金	500円
騰落率	8.7%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ8.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

「TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING」は半導体受託生産を行う大手ファウンドリーです。規模、技術及び効率性は今後も半導体の価格低下を可能にし、ひいては多くの業界でイノベーションと環境及び社会面のインパクトの実現を可能にするとみています。また、大手のパートナー企業と長期の良好な関係を築いていることから、コストを抑えながら最新の設備へ投資を続けることが出来ていると考えています。同社の売上はスマートフォン向け半導体の受託製造が低下し、高度なコンピューター向けといった半導体の受託製造が増加しています。今後も同社の競争優位性が長期的な成長を下支えし、株主価値を生み出し続けることができると考えています。同社の決算が堅調な内容だったことなどを背景に株価が上昇し、プラスに寄与しました。

下落要因

「SHOPIFY INC - CLASS A」はクラウドベースの商取引プラットフォームなどを提供しています。中小企業（SME）を中心とするあらゆる規模の加盟店に決済、出荷、在庫管理等のサービスへのアクセスを提供しており、ネット通販の経験がない加盟店でも低料金かつ短時間でサイトを作成できることから、デジタル化が進む業界で中小規模の業者がより大規模な企業と競争することを可能にすると考えています。また、同社が提供するこうしたサービスが経済的多様性や雇用の創出に貢献するとみています。同社は市場予想を下回った純利益を発表したことなどから株価が下落し、マイナスに作用しました。

第58期～第63期：2025年12月26日～2026年6月25日

投資環境について

▶ 株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

米連邦準備制度理事会（F R B）の利下げ観測後退等から下落する局面もあったものの、一部の人工知能（A I）関連銘柄の業績が堅調であったことや、米国とイランを巡る停戦合意や和平協議進展への期待を背景に、中東情勢に対する過度な警戒感が和らいだこと等から上昇しました。

▶ 為替市況

期間の初めに比べ、米ドルは円に対して上昇した一方、ユーロは円に対して下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・J P Y・アキュムレーション）への投資を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・J P Y・アキュムレーション

日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（D R（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行いました。

■テーマ別組入比率

（現地2026年6月24日時点）

テーマ	比率(%)
平等な社会・教育の実現	43.0
環境・資源の保護	33.0
医療・生活の質向上	19.5
貧困層の課題解決	4.5

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

※データはベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものであり、運用報告書（全体版）とは異なる場合があります。

当期間の主な新規組入および全売却銘柄は以下の通りです。

主な新規組入銘柄

税務・会計等サービスを提供するソフトウェア会社の「INTUIT INC」などを新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

インドネシアの零細・中小企業及びマイクロファイナンスに重点を置く銀行の「BANK RAKYAT INDONESIA PERSER」などを全売却しました。

ポジティブ・チェンジ戦略のエンゲージメント活動

2025年は、36社の投資先企業との間で102回のエンゲージメントを行いました。これは、ベイリー・ギフォードが企業と頻繁に面談し、経営陣と強固な関係を築いていることを反映しています。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/fund/254108.html>）にて開示を行っています。

インパクト・レポートおよびポジティブな対話は当ファンドが投資する外国投資法人の運用に用いられるポジティブ・チェンジ戦略とインパクト・テーマおよびエンゲージメントについて紹介したものです。したがって、ご紹介している内容は当ファンドの投資対象ファンドの内容と異なる場合があります。

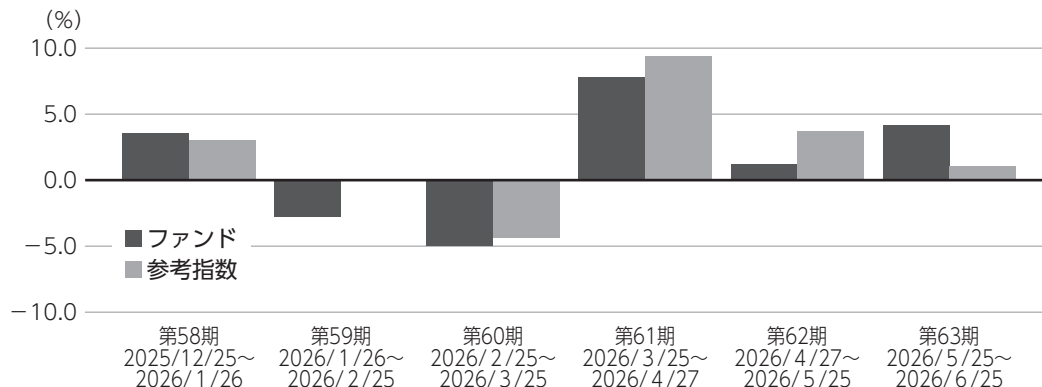
また、「ポジティブ・チェンジ戦略への投資が、社会に与えるインパクト」について、当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/lp/positive_change/indicator/index.html）にて紹介しております。

▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

第58期～第63期：2025/12/26～2026/6/25

当投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、予想提示された金額の分配をめざします。この結果、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第58期 2025年12月26日～ 2026年1月26日	第59期 2026年1月27日～ 2026年2月25日	第60期 2026年2月26日～ 2026年3月25日	第61期 2026年3月26日～ 2026年4月27日	第62期 2026年4月28日～ 2026年5月25日	第63期 2026年5月26日～ 2026年6月25日
当期分配金 （対基準価額比率）	100 (0.921%)	100 (0.956%)	－ (－%)	100 (0.942%)	100 (0.939%)	100 (0.910%)
当期の収益	12	－	－	0	91	100
当期の収益以外	87	100	－	99	8	－
翌期繰越分配対象額	1,156	1,056	1,056	956	948	1,282

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資を行います。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

引き続き、主として日本を含む世界各国の株式等に投資を行います。

ポートフォリオの構築に際しては、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行う方針です。

景気見通しや地政学リスク、各国の金融当局による金融政策の動向に対する懸念などから、短期的には不安定な相場展開

となる可能性があるものの、短期的な株価の変動は長期的な成長が期待される企業へ割安な価格で投資する機会を生むと考えています。当ファンドの運用については、引き続き、「平等な社会・教育の実現」、「環境・資源の保護」、「医療・生活の質向上」、「貧困層の課題解決」の4つのインパクト・テーマの実現に貢献する事業によって、長期の視点から成長が期待される企業への投資を行う方針です。銘柄の選定に際しては、社会的課題への取り組みや企業の競争力等について徹底的な調査・分析を行う「ファンダメンタルズ分析」と、専門チームが社会や環境への影響度を分析する「インパクト分析」の2つの分析を実施して、ポートフォリオを構築します。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2025年12月26日～2026年6月25日

> 1万口当たりの費用明細

項目	第58期～第63期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	76	0.730	(a)信託報酬＝作成年中の平均基準価額×信託報酬率×（作成年中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(40)	(0.384)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(34)	(0.329)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b)その他費用＝作成年中のその他費用÷作成年中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	76	0.732	

作成年中の平均基準価額は、10,475円です。

(注) 作成年間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

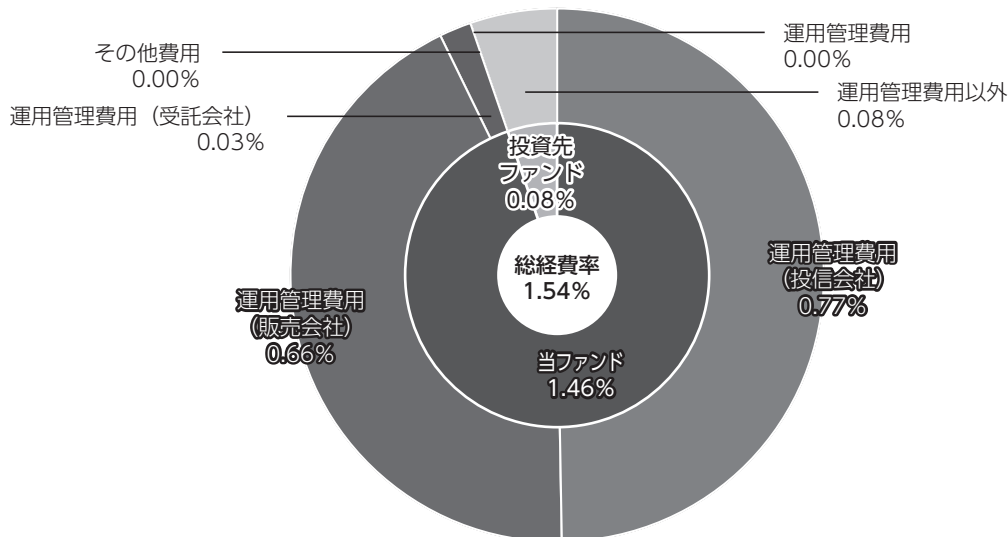
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成年間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.54%**です。



総経費率（①+②+③）	(%)	1.54
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.46
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.08

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用の内訳は、投資先運用会社の判断に基づいたものです。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年12月26日～2026年6月25日)

投資信託証券

銘柄		第58期～第63期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド-クラスC・JPV・アキュムレーション	千口 223	千円 791,220	千口 1,224	千円 4,347,120

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2025年12月26日～2026年6月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年6月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第57期末	第63期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド-クラスC・JPV・アキュムレーション	4,273	3,272	12,708,387	96.7
合	計	4,273	3,272	12,708,387	96.7

(注) 比率はベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド（予想分配金提示型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		第57期末	第63期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	マネー・マーケット・マザーファンド	9	9	10

○投資信託財産の構成

(2026年6月25日現在)

項 目	第63期末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 12,708,387	% 95.7
マネー・マーケット・マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	575,400	4.3
投資信託財産総額	13,283,797	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第58期末	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末
	2026年1月26日現在	2026年2月25日現在	2026年3月25日現在	2026年4月27日現在	2026年5月25日現在	2026年6月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	15,885,343,688	15,198,269,989	14,094,340,442	13,261,603,793	13,153,471,346	13,283,797,155
コール・ローン等	581,831,711	654,086,079	381,139,685	471,907,982	449,560,287	455,287,452
投資証券(評価額)	15,303,490,550	14,544,161,054	11,903,183,236	12,789,676,449	12,703,892,146	12,708,387,555
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	10,063	10,069	10,075	10,082	10,088	10,095
未収入金	—	—	1,810,000,000	—	—	120,100,000
未収利息	11,364	12,787	7,446	9,280	8,825	12,053
(B) 負債	206,747,737	301,947,330	28,264,967	154,702,663	177,723,317	137,320,424
未払収益分配金	145,744,535	143,736,240	—	124,593,632	123,014,968	120,803,135
未払解約金	40,755,003	139,979,715	11,751,716	13,111,170	40,068,144	—
未払信託報酬	20,202,639	18,190,355	16,476,096	16,959,617	14,607,263	16,480,125
その他未払費用	45,560	41,020	37,155	38,244	32,942	37,164
(C) 純資産総額(A－B)	15,678,595,951	14,896,322,659	14,066,075,475	13,106,901,130	12,975,748,029	13,146,476,731
元本	14,574,453,573	14,373,624,014	14,276,118,421	12,459,363,278	12,301,496,884	12,080,313,520
次期繰越損益金	1,104,142,378	522,698,645	△ 210,042,946	647,537,852	674,251,145	1,066,163,211
(D) 受益権総口数	14,574,453.573口	14,373,624.014口	14,276,118.421口	12,459,363.278口	12,301,496.884口	12,080,313.520口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,758円	10,364円	9,853円	10,520円	10,548円	10,883円

○損益の状況

項 目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
	2025年12月26日～ 2026年1月26日	2026年1月27日～ 2026年2月25日	2026年2月26日～ 2026年3月25日	2026年3月26日～ 2026年4月27日	2026年4月28日～ 2026年5月25日	2026年5月26日～ 2026年6月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	198,756	152,484	138,760	300,375	181,787	150,709
受取利息	198,756	152,484	138,760	300,375	181,787	150,709
(B) 有価証券売買損益	557,230,004	△404,329,077	△ 712,869,484	971,911,493	172,491,011	541,152,448
売買益	564,881,353	6,669,446	1,638,916	979,467,545	175,181,893	551,065,416
売買損	△ 7,651,349	△410,998,523	△ 714,508,400	△ 7,556,052	△ 2,690,882	△ 9,912,968
(C) 信託報酬等	△ 20,248,199	△ 18,231,375	△ 16,513,251	△ 16,997,861	△ 14,640,205	△ 16,517,289
(D) 当期損益金 (A + B + C)	537,180,561	△422,407,968	△ 729,243,975	955,214,007	158,032,593	524,785,868
(E) 前期繰越損益金	403,353,012	782,658,171	214,449,321	△449,105,030	375,785,783	402,724,467
(F) 追加信託差損益金	309,353,340	306,184,682	304,751,708	266,022,507	263,447,737	259,456,011
(配当等相当額)	(890,881,894)	(879,784,658)	(875,574,975)	(764,367,253)	(755,686,735)	(742,792,060)
(売買損益相当額)	(△ 581,528,554)	(△573,599,976)	(△ 570,823,267)	(△498,344,746)	(△492,238,998)	(△ 483,336,049)
(G) 計 (D + E + F)	1,249,886,913	666,434,885	△ 210,042,946	772,131,484	797,266,113	1,186,966,346
(H) 収益分配金	△ 145,744,535	△143,736,240	0	△124,593,632	△123,014,968	△ 120,803,135
次期繰越損益金 (G + H)	1,104,142,378	522,698,645	△ 210,042,946	647,537,852	674,251,145	1,066,163,211
追加信託差損益金	309,353,340	306,184,682	304,751,708	266,022,507	263,447,737	259,456,011
(配当等相当額)	(890,881,894)	(879,784,658)	(875,574,975)	(764,367,253)	(755,686,735)	(742,792,060)
(売買損益相当額)	(△ 581,528,554)	(△573,599,976)	(△ 570,823,267)	(△498,344,746)	(△492,238,998)	(△ 483,336,049)
分配準備積立金	794,789,038	638,921,931	632,829,276	427,779,663	410,803,408	806,707,200
繰越損益金	—	△422,407,968	△1,147,623,930	△ 46,264,318	—	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 14,771,781,486円
作成期中追加設定元本額 138,198,028円
作成期中一部解約元本額 2,829,665,994円
また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0883円です。

②分配金の計算過程

項 目	2025年12月26日～ 2026年1月26日	2026年1月27日～ 2026年2月25日	2026年2月26日～ 2026年3月25日	2026年3月26日～ 2026年4月27日	2026年4月28日～ 2026年5月25日	2026年5月26日～ 2026年6月25日
費用控除後の配当等収益額	190,659円	—円	—円	295,280円	165,684円	145,756円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	17,814,375円	—円	—円	—円	112,297,384円	524,640,112円
収益調整金額	890,881,894円	879,784,658円	875,574,975円	764,367,253円	755,686,735円	742,792,060円
分配準備積立金額	922,528,539円	782,658,171円	632,829,276円	552,078,015円	421,355,308円	402,724,467円
当ファンドの分配対象収益額	1,831,415,467円	1,662,442,829円	1,508,404,251円	1,316,740,548円	1,289,505,111円	1,670,302,395円
1万口当たり収益分配対象額	1,256円	1,156円	1,056円	1,056円	1,048円	1,382円
1万口当たり分配金額	100円	100円	—円	100円	100円	100円
収益分配金金額	145,744,535円	143,736,240円	—円	124,593,632円	123,014,968円	120,803,135円

○分配金のお知らせ

	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
1 万口当たり分配金（税込み）	100円	100円	0円	100円	100円	100円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

＊三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。
一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
(2026年4月1日)

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション
運用方針	日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）のうち、持続可能であらゆる人々を受容する世界の実現に向け、好ましい社会的インパクトをもたらす製品、サービスの提供や、かかる事業活動を公正かつ誠実に実施する企業の株式等への投資を行い、長期的な信託財産の成長をめざします。
主要運用対象	日本を含む世界各国の株式等
主な組入制限	・ 同一の発行体が発行する株式等への投資比率は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ・ 新興国の株式等への投資額は、合計して純資産総額の50%以内とします。 ・ ロシアの金融商品取引所に上場されている株式等へは投資を行いません。また、他国の金融商品取引所に上場されているロシアの株式等についても投資を行いません。
決算日	毎年9月30日
分配方針	原則として分配を行わない方針です。

運用計算書、純資産変動計算書、投資明細表はANNUAL REPORT AND AUDITED FINANCIAL STATEMENTS FOR THE YEAR ENDED 30 SEPTEMBER 2025版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、シェアクラス分けされたものがないため、ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドで掲載しています。

(1) 運用計算書

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

(2024年10月1日～2025年9月30日)

	ベイリー・ギフォード・ ワールドワイド・ ポジティブ・チェンジ・ ファンド
	米ドル
収益：	
投資収益	11,348,598
銀行受取利子	427,672
その他収益	17,456
損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び金融負債に係る損益（純額）	228,847,202
投資（損）益合計	240,640,928
費用：	
運用受託報酬	(2,148,418)
事務処理手数料	(899,501)
監査報酬	(17,018)
法務及び専門家報酬	(100,419)
事務管理手数料	(461,194)
預託手数料	(405,606)
ディレクター報酬及び費用	(13,461)
その他費用	(310,484)
運用費用合計	(4,356,101)
費用清算	—
純費用	(4,356,101)
分配	—
金融費用	(76)
純損益	236,284,751
源泉徴収税	(1,289,670)
純資産の純増加（減少）額	234,995,081

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(2) 純資産変動計算書

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

(2024年10月1日～2025年9月30日)

	ベイリー・ギフォード・ ワールドワイド・ ポジティブ・チェンジ・ ファンド
	米ドル
純資産期首	1,406,356,856
投資信託証券の純発行額	110,479,300
分配再投資	—
投資信託証券の純償還額	(482,650,090)
純増減額	(372,170,790)
純資産の純増加（減少）額	234,995,081
純資産期末	1,269,181,147

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(3) 投資明細表 (STATEMENT OF INVESTMENTS)

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド (2025年9月30日現在)

銘柄	残高	時価 (USD)	対純資産比率 (%)
Equities			
Brazil - 2.94% (30 September 2024: 4.34%)			
NU Holdings Ltd Class A	2,339,986	37,311,077	2.94
Canada - 5.30% (30 September 2024: 5.88%)			
AbCellera Biologics Inc	2,167,412	10,544,459	0.83
Shopify Inc Class A	380,609	56,735,481	4.47
Denmark - 2.61% (30 September 2024: 3.69%)			
Novonosis (Novozymes) Class B	547,986	33,074,222	2.61
France - 2.79% (30 September 2024: 2.50%)			
Schneider Electric SE	110,527	30,775,911	2.42
SOITEC	103,522	4,656,245	0.37
Hong Kong - 2.30% (30 September 2024: 0.00%)			
Prudential PLC	2,079,745	29,143,083	2.30
India - 3.24% (30 September 2024: 4.77%)			
HDFC Bank Ltd	3,846,124	41,110,321	3.24
Indonesia - 2.98% (30 September 2024: 4.96%)			
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	160,820,305	37,780,468	2.98
Italy - 1.52% (30 September 2024: 0.00%)			
Prysmian SpA	195,047	19,270,306	1.52
Kazakhstan - 0.71% (30 September 2024: 0.00%)			
Kaspi.KZ JSC - ADR	110,116	9,006,388	0.71
Netherlands - 4.90% (30 September 2024: 5.95%)			
ASML Holding NV	64,177	62,251,288	4.90
Singapore - 7.69% (30 September 2024: 2.53%)			
Grab Holdings Ltd Class A	8,216,907	50,164,217	3.95
Sea Ltd - ADR	261,936	47,508,642	3.74
Sweden - 1.93% (30 September 2024: 1.99%)			
Epiroc AB Class B	1,315,942	24,533,730	1.93
Switzerland - 2.40% (30 September 2024: 0.00%)			
Sandoz Group AG	515,815	30,447,436	2.40
Taiwan - 7.47% (30 September 2024: 7.18%)			
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	2,210,000	94,808,550	7.47
United Kingdom - 3.76% (30 September 2024: 0.00%)			
ARM Holdings PLC - ADR	131,870	18,432,788	1.45
Ashtead Group PLC	440,589	29,340,802	2.31
United States - 40.82% (30 September 2024: 44.80%)			
ABIOMED Inc ²	232,884	—	—
Alnylam Pharmaceuticals Inc	130,553	58,421,162	4.60
Autodesk Inc	153,109	49,287,318	3.88
Coursera Inc	1,520,915	18,365,049	1.45
Deere & Co	103,922	48,390,240	3.81
Dexcom Inc	444,153	29,513,967	2.33
Duolingo Inc Class A	109,457	35,970,307	2.84
Ecolab Inc	150,925	41,182,905	3.25
Illumina Inc	253,060	23,258,744	1.83
Insulet Corp	92,878	28,852,551	2.27
Joby Aviation Inc	917,244	14,685,076	1.16
Microsoft Corp	120,116	61,817,099	4.87
New York Times Co Class A	516,052	29,608,483	2.33
PROCEPT BioRobotics Corp	103,879	3,790,025	0.30
Remitly Global Inc	1,652,068	27,283,903	2.15
Rivian Automotive Inc Class A	451,129	6,877,462	0.54

銘柄	残高	時価 (USD)	対純資産比率 (%)
Equities (continued)			
United States - 40.82% (30 September 2024: 44.80%) (continued)			
Savers Value Village Inc	1,701,884	23,137,113	1.82
Vertex Pharmaceuticals Inc	44,541	17,611,957	1.39
Uruguay - 5.86% (30 September 2024: 8.88%)			
MercadoLibre Inc	29,762	74,376,280	5.86
Total Equities		1,259,325,055	99.22
Financial Equity Assets at Fair Value through Profit or Loss		1,259,325,055	99.22
Financial Equity Liabilities at Fair Value through Profit or Loss		—	—
Total Financial Assets at Fair Value through Profit or Loss		1,259,325,055	99.22
Total Financial Liabilities at Fair Value through Profit or Loss		—	—
Other Net Assets		9,856,092	0.78
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Shares		1,269,181,147	100.00
Analysis of Total Assets (Unaudited)			
			Total Assets %
Transferable securities admitted to an official stock exchange listing	1,259,325,055		99.12
Transferable securities dealt in on another regulated market	—		0.00
Transferable securities other than those admitted to an official stock exchange listing or dealt in on another regulated market	—		0.00
Financial derivative instruments	—		0.00
Other assets	11,200,254		0.88
Total Assets		1,270,525,309	100.00

¹During the year, the Fund changed its basis of classification for country and sector allocations from manager-defined categories based upon where the company derived most of its revenue to Bloomberg classifications based upon country of incorporation. Comparative figures have been re-presented on the new basis to ensure consistency and comparability. This change has no impact on net assets attributable to holders of redeemable shares.

²Contingent Value Right (CVR) currently valued at zero due to the extended timelines associated with the milestones that determine the payout. The accompanying notes form an integral part of these financial statements.

マネー・マーケット・マザーファンド

《第43期》決算日2026年5月20日

[計算期間：2025年11月21日～2026年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第43期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第43期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率					
39期(2024年5月20日)	円		%		%			百万円
	10,181		0.0		—		—	4,054
40期(2024年11月20日)	10,189		0.1		—		—	5,470
41期(2025年5月20日)	10,211		0.2		—		—	40,477
42期(2025年11月20日)	10,235		0.2		—		—	8,389
43期(2026年5月20日)	10,269		0.3		—		—	10,546

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期 首)	円		%		%		%
2025年11月20日	10,235		—		—		—
11月末	10,236		0.0		—		—
12月末	10,240		0.0		—		—
2026年1月末	10,247		0.1		—		—
2月末	10,252		0.2		—		—
3月末	10,259		0.2		—		—
4月末	10,265		0.3		—		—
(期 末)							
2026年5月20日	10,269		0.3		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

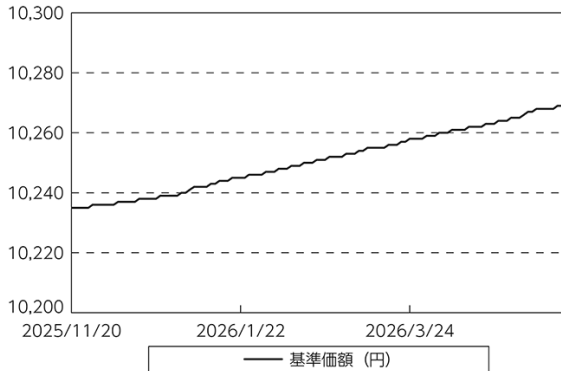
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

・無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

・日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年11月21日～2026年 5 月20日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2025年11月21日～2026年 5 月20日)

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	コマーシャル・ペーパー	892, 287, 840	890, 419, 039

(注) 金額は受渡代金。

○ 利害関係人との取引状況等

(2025年11月21日～2026年 5 月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○ 組入資産の明細

(2026年 5 月20日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期	末
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 8, 593, 822	% 81. 5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○ 投資信託財産の構成

(2026年 5 月20日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 8, 593, 822	% 81. 5
コール・ローン等、その他	1, 952, 852	18. 5
投資信託財産総額	10, 546, 674	100. 0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年5月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,546,674,739
コール・ローン等	1,952,813,562
その他有価証券(評価額)	8,593,822,921
未収利息	38,256
(B) 負債	7,189
未払解約金	7,189
(C) 純資産総額(A－B)	10,546,667,550
元本	10,269,921,425
次期繰越損益金	276,746,125
(D) 受益権総口数	10,269,921,425口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,269円

<注記事項>

- ①期首元本額 8,197,454,361円
期中追加設定元本額 2,644,915,164円
期中一部解約元本額 572,448,100円
また、1口当たり純資産額は、期末1.0269円です。

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

- 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030 (確定拠出年金) 4,196,513,617円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド 2,738,934,080円
マネーボールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定) 2,088,303,015円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035 (確定拠出年金) 1,170,969,295円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド> 22,181,476円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030 21,430,379円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA> 18,454,184円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型) 4,850,169円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) 4,289,171円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) 1,626,386円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド> 1,326,531円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型) 98,223円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) 98,222円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型) 98,222円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型) 98,222円
テンブルトン新興国小型株ファンド 49,097円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型) 39,351円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) 9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型) 9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型) 9,829円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (予想分配金提示型) 9,822円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド (予想分配金提示型) 9,822円
<DC>ベイリー・ギフォード ESG世界株ファンド 9,822円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型) 9,822円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型) 9,821円
三菱UFJ /ピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型) 9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型) 9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型) 9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型) 9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型) 9,821円

○損益の状況 (2025年11月21日～2026年5月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	32,944,745
受取利息	32,944,745
(B) 当期損益金(A)	32,944,745
(C) 前期繰越損益金	192,272,044
(D) 追加信託差損益金	66,154,865
(E) 解約差損益金	△ 14,625,529
(F) 計(B＋C＋D＋E)	276,746,125
次期繰越損益金(F)	276,746,125

- (注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<DC>ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,821円
ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,821円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,821円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	9,821円
ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	9,821円
米国バンクロンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	9,821円
ペイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,821円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	9,821円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	9,821円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
米国バンクロンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	9,820円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
合計	10,269,921,425円

【お 知 ら せ】

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)